

第 19 回植物病害診断教育プログラム 開講のお知らせ

日本植物病理学会では、植物病理学の最も基本的な技術である「病害診断の技術」を学んで頂き、また植物病理学の楽しさに少しでも触れて頂こうと、平成16年度から毎年教育プログラム（現在は植物病害診断教育プログラム）を開講しています。農薬会社・種苗会社のような植物病理学に関連した企業や県・国の試験研究機関の技術者の方々、また植物病理学の専門教育や基本的な実験手法を学ぶ機会のなかった方々なども対象にして開催します。

本年度は、玄界灘を臨む福岡市西部の伊都地区に立地する九州大学の校舎を利用して開催します。対象分野・実習内容は、九州で見られる病害を主とした、菌類、細菌、ウイルス病害の診断、検出方法など多岐にわたります。また講師陣は、九州地方の第一線で活躍されている方々にお願いをしました。残暑が残る暑い季節と思われますが、ご興味のある方々のご参加を募ります。なお、受講者には修了証を交付します。

プログラムの詳細については学会ホームページにてお知らせする予定です。

受講対象： 本学会会員と非会員

募集定員： 30 名

開催時期： 2025 年 9 月 1 日（月）から2025 年 9 月 5 日（金）までの 5 日間

開催場所： 九州大学伊都キャンパス ウェスト5号館 東ウイング2階212号室 生物学実験室
（〒819-0395 福岡市西区元岡744）（<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/campus/ito/>）

費用： 受講料 本学会会員 30,000 円（学生は 15,000 円）、非会員 50,000 円（学生は 25,000 円）
（旅費・宿泊費は別、宿泊等は各自でお願いします）

情報交換会費： 6000 円程度（予定） 場所未定

申し込み： 実行委員 飯山和弘まで、メール（iiyama@grt.kyushu-u.ac.jp）にてお願いします。

氏名、勤務先（学校名）とその所在地、メールアドレス、電話番号、受講希望理由を明記の上、7 月 1 日（火）以降に申し込んでください（事前の申し込みは受け付けません）。

申し込み期間： 7 月 1 日（火）～ 7 月 15 日（火）とします。

備考： 若手、社会人を優先して受講者を決定します。受講希望者が定員を大きく超えた場合は、申し込み終了日を予定より早めることがあります。受講決定者には、後日詳細情報をお送りします。

問い合わせ： 教育プログラム実行委員 飯山和弘まで、メール（iiyama@grt.kyushu-u.ac.jp）或いは古屋成人まで、メール（nafuruya@agr.kyushu-u.ac.jp）でお願いします。

プログラム予定（内容や時刻は変更の可能性あり）

2025 年 9 月 1 日（月）

13:00～13:10 開催挨拶 実行委員代表 古屋成人（九州大学）
学会長挨拶 高橋英樹（東北大学）

13:20～14:00 病害診断の重要性 担当者：田代暢哉（プラントヘルスケア研究所 代表理事）
内容：AI 診断技術の普及に伴う、病害診断の重要性について説明

14:10～15:40 菌類の顕微鏡観察 担当者：草場基章（佐賀大学）
内容：孢子、遊走子などを供試し、光学顕微鏡の基本的操作法やプレパラートの試料作製法などを実習する。

15:40～17:00 糸状菌病の診断 担当者：松元 賢（九州大学）

内容：西南暖地に発生する重要糸状菌病の診断を、病害サンプルを使って実習を行う。

18:00～20:00 情報交換会

9月2日（火）

9:00～10:30 現場の生産者から求められること 担当者：石井貴明（福岡県）

内容：農業現場の技術者に必要なことを、診断・防除方法の指導までの過程を講義形式で習得させる。

10:40～12:00 佐賀県での病害虫診断の現状 担当者：渡邊幸子（佐賀県）

内容：農家への問診、サンプルの保存方法、ほ場診断の注意点などについて、佐賀県での具体的事例を紹介する。

13:00～15:00 植物ウイルス病の診断 担当者：竹下 稔（宮崎大学）

内容：代表的なウイルス病の病徴診断について、罹病植物体を使っての実習を行う。

15:10～17:00 植物病原ウイルスの検出 担当者：菅野善明（南九州大学）

内容：ウイルス病について各種検出・同定キットの紹介。実際に使用して病原ウイルスを同定する実習も行う。

9月3日（水）

9:00～12:00 土壌中におけるタマネギべと病菌の診断 担当者：古田明子（佐賀県）

内容：べと病罹病タマネギを供試し、罹病葉からの卵胞子の簡易検出法と卵胞子の生死判別などについての実習を行う。

13:00～15:00 ウイルス診断の簡素化の実例 担当：井手洋一（佐賀県）

内容：カンキツウイルスを例にして、イムノクロマトなどの免疫的検出法を実習する。

15:10～17:00 土壌病害、イモ類の病害診断と防除対策 担当者：西 八束（鹿児島県）

内容：イモ類に発生する土壌病害の診断法について実習し、防除対策についての具体的な手法を習得する。

9月4日（木）

9:00～12:00 防除対策選択のためのイチゴ病害診断 担当者：稲田 稔（佐賀県）

内容：イチゴに発生する菌類病を対象に、病害サンプルを用いて病徴診断と病原の検出法を実習し、効果的な防除法選択の過程を学ぶ。

13:00～15:00 細菌病の診断 担当：飯山和弘・土屋健一（九州大学）

内容：バクテリア病について各種検出・同定キットの紹介。実際に使用して病原菌を同定する実習を行う。

15:10～17:00 青枯細菌病の診断と検出 担当：菅 康弘（長崎県）

内容：ジャガイモ青枯細菌病の罹病植物体を用い、病徴や病原の簡易診断技術の実習を行う。

9月5日（金）

9:00～11:30 芝の病害診断 担当：奥野健太郎（シンジェンタ）

内容：芝に発生する病害の病徴診断と病原の検出技術についての実習を行う。

11:30～12:00 修了証授与式・閉会挨拶